

令和3年度（2021年度）上期輸送実績の概況

令和3年度（2021年度）上期における内航輸送量の合計は、前年度同期比では110.9%の1億8,108万3千トン/klとなった。

前年の同時期においては、新型コロナウイルス感染症の拡大から初めて緊急事態宣言が発令され、鉄鋼高炉の休止や自動車等の生産活動の停滞により、著しい輸送需要の低迷が見られた。

その後、鉄鋼高炉の起ち上がり、ジェット燃料の需要やケミカル製品需要の挽回により、前年同時期の低水準から回復が見られた。一方、自動車に関しては前年同期比では増加となったが、半導体不足の影響や夏場の東南アジアでの感染症感染拡大による部品供給の不足もあり、自動車の生産が停止するといった煽りを受け、自動車の輸送は急激に減少したため、一昨年の同時期と比較すると約2割の減少となった。セメントの輸送においては、感染症拡大による工事の延期や需要の低迷が見られた結果、前年同期比で輸送量は横ばいとなっている。なお、東京五輪大会の開催期間中は物流停滞の影響が懸念されていたが、目立った混乱は見られなかった。

貨物船の輸送量は、1億2,108万トンで112.4%となった。

品目別に前年度同期比で輸送量を見ると、鋼材が131.4%。例年より早い梅雨入りで西日本地区では荷揚げ作業等に影響も見られ、長雨や台風による荒天の影響で次月に繰り越す貨物が発生したが、鉄鋼生産の回復により船腹需給はタイトな状態が続いた。

原料は113.9%。鉄鋼生産の回復に伴い輸送の増加が見られた。

燃料は120.3%。鉄鋼生産の回復からコークスの輸送量が増加した。

紙・パルプは115.0%。2021年8月に操業を停止した製紙工場から停止前の紙製品の送り込み輸送が続いたため増加となった。

雑貨は111.7%。「巣ごもり需要」は堅調であったが、感染症蔓延防止・緊急事態宣言により人流抑制に伴う外出自粛や飲食店への時短・休業要請等の影響が見られた。工事現場の工期の延期に伴い、建設用の資材・部材等も輸送の先延ばしが見られた。例年であれば輸送の需要が高まってくるはずのジャガイモやタマネギ等の農産品輸送は、北海道が干ばつのため作柄不良の影響が表れ、輸送需要は低調となった。

一方で、令和3年8月の大雨の影響で山陽線が不通になったため、JR貨物の代行輸送が一部で見られた。

自動車は103.6%。前年度同期比では増加となったが、半導体不足の影響が自動車生産に影を落としており、2年前と比較すれば低い水準となった。

セメントは100.4%。感染症第5波による感染拡大から工事の延期が目立ち、セメントの輸送量は減少していたが、9月に入り感染症の影響も薄れてきたことから需要の回復が見られ、前年度同期比並となった。

穀物・肥料・飼料は110.9%、機械・プラントは102.7%、砂・砂利・石材は80.1%となった。

上期の油送船の輸送量は、6,000万3千トン/klで108.0%となった。黒油が109.6%、白油が

102.5%、油脂が 108.7%、ケミカルが 121.9%。特タン船が 117.8%となった。

黒油は製油所間転送のほか、製油所の定期修理やトラブルに伴うスポット輸送の発生により増加となった。

白油はジェット燃料が貨物便向け需要増から回復が見られている一方で、ガソリンは外出自粛要請により需要減が見られた。冬期に向けた灯油の積み増し輸送が夏期に見られた。

ケミカルは前年度同期はキシレンの製造設備の修理により需要は低迷していたが、今年はそのようなことがなかったためキシレンの回復が目立った反面、ベンゼン等は減少した。

特タン船は LPG、塩ビモノマー、エチレン、液体アンモニア等について増加が見られた。

[参 考]

関連業界の動向

(各荷主団体・関係省庁資料による)

	令和2年度(2020年度)			令和3年度(2021年度)	増減率	
	上期	下期	年度計	上期	前年同期比	前期比
鉄 鋼	(千t)			(千t)	(%)	(%)
粗鋼生産量	37,085	45,699	82,784	48,423	130.6%	130.6%
粗鋼見掛消費	23,872	31,786	55,659	32,322	135.4%	135.4%
石 灰 石	(千t)			(千t)	(%)	(%)
生産量	62,501	66,663	129,164	65,555	104.9%	104.9%
国内出荷	59,402	63,882	123,284	62,213	104.7%	104.7%
製 紙	(千t)			(千t)	(%)	(%)
紙・板紙国内出荷	10,197	11,050	21,247	11,817	115.9%	115.9%
新聞用紙出荷	1,002	1,042	2,044	982	98.0%	98.0%
自 動 車	(千台)			(千台)	(%)	(%)
国内生産台数	3,336	4,634	7,970	3,603	108.0%	108.0%
国内販売台数	2,029	2,628	4,657	2,050	101.0%	101.0%
セメント	(千t)			(千t)	(%)	(%)
国内生産	28,229	28,958	57,187	27,343	96.9%	96.9%
国内販売	20,352	19,665	40,017	18,689	91.8%	91.8%
石 油 製 品	(千kl)				(%)	(%)
燃料油内需量	82,708	82,581	165,289	71,179	86.1%	86.1%

*粗鋼見掛消費量とは、国内出荷量をさす。「生産」+「輸入」-「輸出」

*末尾数値は四捨五入のため、合計欄と合致しないことがある。

*前回発表時データからその後に修正等により変更されているものがある。

2021(令和3)年度【上期】 輸送実績（1号票集計結果表）

（単位：千トン、千kl（一般タンカー））

大分類	品目	2019(令和元)年度		2020(令和2)年度		2021(令和3)年度	前年度 上期比 (%)	前々年度 上期比 (%)
		上期 (A)	下期	上期 (B)	下期	上期 (C)		
鋼材	鋼材（一般鋼材）	23,261	22,745	17,703	22,139	23,225	131.2%	99.8%
	鋼材（容積材）	127	131	129	176	198	153.5%	155.9%
	計	23,388	22,876	17,832	22,315	23,423	131.4%	100.1%
原料	石灰石	17,964	17,751	15,730	17,437	18,442	117.2%	102.7%
	非金属鉱	1,225	1,038	918	1,171	1,248	135.9%	101.9%
	金属鉱	271	292	245	252	274	111.8%	101.1%
	スラグ	3,299	3,340	3,454	3,412	3,271	94.7%	99.2%
	その他原材料	6,391	6,837	6,079	7,110	6,860	112.8%	107.3%
	計	29,150	29,258	26,426	29,382	30,095	113.9%	103.2%
燃料	石炭	6,411	7,556	6,330	6,629	7,298	115.3%	113.8%
	コークス	2,141	2,470	1,649	2,181	2,301	139.5%	107.5%
	計	8,552	10,026	7,979	8,810	9,599	120.3%	112.2%
穀物・肥料・飼料	穀物・飼料	2,667	2,398	2,538	2,542	2,779	109.5%	104.2%
	肥料	370	339	314	315	384	122.3%	103.8%
	りん鉱石	5	4	2	3	3		
	計	3,042	2,741	2,854	2,860	3,166	110.9%	104.1%
機械・プラント		254	241	183	186	188	102.7%	74.0%
紙・パルプ	木材	707	662	550	600	711	129.3%	100.6%
	紙	1,034	912	763	835	787	103.1%	76.1%
	パルプ	44	42	28	35	44	157.1%	100.0%
	計	1,785	1,616	1,341	1,470	1,542	115.0%	86.4%
雑貨	一般雑貨	8,991	8,407	7,654	8,253	8,567	111.9%	95.3%
	油脂類	2	1	2	1	2		
	コンテナ	5,033	4,924	4,454	4,922	5,030	112.9%	99.9%
	塩	589	639	531	583	567	106.8%	96.3%
	アルミナ	37	30	32	31	28	87.5%	75.7%
	非鉄金属	370	380	354	296	351	99.2%	94.9%
	計	15,022	14,381	13,027	14,086	14,545	111.7%	96.8%
自動車		25,823	24,510	20,308	26,178	21,042	103.6%	81.5%
セメント		16,886	17,611	15,888	17,078	15,947	100.4%	94.4%
砂・砂利・石材		1,969	1,798	1,913	1,759	1,533	80.1%	77.9%
貨物船 合計		125,871	125,058	107,751	124,124	121,080	112.4%	96.2%
一般 タンカー	黒油	13,096	14,760	13,312	16,012	14,587	109.6%	111.4%
	白油	35,151	36,395	29,557	32,367	30,310	102.5%	86.2%
	油脂	497	489	427	449	464	108.7%	93.4%
	ケミカル	6,614	6,438	5,427	6,196	6,617	121.9%	100.0%
	計	55,358	58,082	48,723	55,024	51,978	106.7%	93.9%
特タン船		7,852	8,041	6,812	8,315	8,025	117.8%	102.2%
油送船 合計		63,210	66,123	55,535	63,339	60,003	108.0%	94.9%
総合計（貨物船+油送船）		189,081	191,181	163,286	187,463	181,083	110.9%	95.8%

注）末尾数値は四捨五入のため、合計欄と合致しないことがある
過去に発表済みの輸送量について、発表後に修正した品目がある。

内航輸送実績推移(上・下期別)

単位 貨物船:百万トン、一般タンカー:百万kl

